

予算審査特別委員会会議録

会 議 年 月 日	令和6年2月20日（火曜日）		
開 会	午前11時20分	閉 会	午前11時38分
場 所	本会議場		
出 席 委 員 (30名)	委 員 長 石田憲太郎 副委員長 加嶋 辰史 委 員 柳 大地 岡田 実 坂根 政代 水口 誠 谷口 明子 西尾 彰仁 中山 明保 雲坂 衛 金田 靖典 岩永 安子 勝田 鮮二 浅野 博文 加藤 茂樹 吉野 恭介 星見 健蔵 魚崎 勇 西村紳一郎 足立 考史 太田 縁 吉田 博幸 伊藤 幾子 秋山 智博 長坂 則翁 平野真理子 岡田 信俊 寺坂 寛夫 砂田 典男 上杉 栄一		
欠 席 委 員	米村 京子		
委 員 外 議 員	なし		
事 務 局 職 員	局 長 保木本英明 局 次 長 植田 光一 局 長 補 佐 毛利 元 議 事 係 長 谷島 孝子 議 事 係 主 任 橋本 圭司 議 事 係 主 事 田中 真一		
傍 聴 者	なし		
会議に付した事件	別紙のとおり		

午前11時20分 開会

開会、委員長の互選

◆上杉栄一委員 ただいまから、予算審査特別委員会を開会いたします。

本日は、特別委員会設置後、初めての委員会でありますので、委員長が互選されるまで年長の私が委員長の職務を行います。

初めに、欠席委員について御報告いたします。米村京子委員より病氣療養のため、本日の委員会を欠席する旨の届出がありましたので御報告いたします。

これより委員長の互選を行います。

委員長の互選については、会議規則第126条第1項の規定により投票で行います。

この投票は、会議規則第126条及び第127条の規定により行われます。

なお、この投票には委員長の職務を行っている者にも投票権がありますので申し添えます。それでは、これより投票により委員長の選出を行います。

ただいまの出席委員数は30名であります。

投票用紙を配付させます。

〔投票用紙配付〕

◆上杉栄一委員 投票用紙の配付漏れはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆上杉栄一委員 配付漏れなしと認めます。

投票箱を点検します。

〔投票箱点検〕

◆上杉栄一委員 異常なしと認めます。

それでは、投票用紙に単記無記名でご記入ください。

投票箱を巡回させますので、投票箱に投票願います。

〔投票〕

◆上杉栄一委員 投票漏れはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆上杉栄一委員 投票漏れなしと認めます。

投票を終了します。開票を行います。

〔開票〕

◆上杉栄一委員 結果を御報告いたします。

投票総数30票、これは先ほどの出席委員数に符合いたしております。

そのうち有効投票30票。無効投票ゼロ票。有効投票中、石田憲太郎委員30票。以上のとおりであります。

したがって、石田憲太郎委員が委員長に当選されました。

それでは、就任の御挨拶をお願いし、以上で私の職務を終わります。

〔石田憲太郎委員 委員長席へ〕

◆石田憲太郎委員長 ただいま、予算審査特別委員長に選任されました石田でございます。昨年5月に新型コロナウイルスも5類に移行いたしまして、令和6年度はポストコロナの様々な施策を前に進める年であろうというふうに思います。この新年度予算案につきましては防災とか子供施策、まちづくりや観光振興など、様々な明るい未来プラン、これの取組が盛り込まれているところでありまして、市民の安全安心な暮らし、この予算となりますように皆様の活発な議論をしていただきますことに期待をいたしております。また各分科会のスムーズな運営に御協力をお願い申し上げまして、就任の御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

（拍手）

副委員長の互選

◆石田憲太郎委員長 議事を続けます。

これより、副委員長の互選を行います。

副委員長の互選については、会議規則第126条第1項の規定により投票で行います。

この投票は会議規則第126条及び127条の規定により行われます。

なお、この投票には委員長にも投票権がありますので申し添えます。

それでは、これより投票により副委員長の選出を行います。

ただいまの出席委員数は30名であります。

投票用紙を配付させます。

〔投票用紙配付〕

◆石田憲太郎委員長 投票用紙の配付漏れはございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆石田憲太郎委員長 配付漏れなしと認めます。

投票箱を点検します。

〔投票箱点検〕

◆石田憲太郎委員長 異常なしと認めます。

それでは、投票用紙に単記無記名でご記入ください。

投票箱を巡回させますので、投票箱に投票願います。

〔投票〕

◆石田憲太郎委員長 投票漏れはございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆石田憲太郎委員長 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

それでは開票を行います。

〔開票〕

◆石田憲太郎委員長 結果を御報告いたします。

投票総数30票、これは先のほどの出席委員数に符合いたしております。

そのうち有効投票30票、無効投票ゼロ票。有効投票中、加嶋辰史委員30票。以上のとおりであります。

したがって、加嶋辰史委員が副委員長に当選されました。

それでは、就任の御挨拶をお願いします。

〔加嶋辰史副委員長 副委員長席へ〕

◆加嶋辰史副委員長 ただい副委員長に選任されました加嶋でございます。スムーズな運営を目指される石田委員長を補佐することをがんばります。どうぞよろしくお願いいたします。

（拍手）

分科会の設置及び審査区分について

◆石田憲太郎委員長 続きまして、分科会の設置及び審査区分についてお諮りしたいと思います。審査のため、4つの分科会を設置し、分科会の審査区分については、御手元に配付のとおりとしたいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◆石田憲太郎委員長 御異議なしと認めます。したがって、そのように決定しました。

分科員の選任

◆石田憲太郎委員長 続きまして、分科員の選任を行います。分科員の選任につきましては、委員長において指名したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◆石田憲太郎委員長 御異議なしと認め、そのように決定しました。分科員につきましては、御手元に配付のとおり指名します。

分科会長、分科副会長の選任

◆石田憲太郎委員長 次に、分科会の会長及び副会長の選任を行います。本件につきましては、委員長が指名したいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◆石田憲太郎委員長 御異議なしと認め、そのように決定しました。

総務企画分科会は、会長に砂田典男委員、副会長に長坂則翁委員。

福祉保健分科会は、会長に星見健蔵委員、副会長に秋山智博委員。

文教経済分科会は、会長に浅野博文委員、副会長に金田靖典委員。

建設水道分科会は、会長に勝田鮮二委員、副会長に加藤茂樹委員をそれぞれ指名いたします。

以上で、本日の日程は終了しました。本日はこれで閉会とします。

午前11時38分 閉会

予算審査特別委員会

日 時 令和6年2月20日（火）
本会議終了後
場 所 全員協議会室

日 程

- 1 開 会
- 2 委員長の互選
- 3 副委員長の互選
- 4 分科会の設置及び審査区分について
- 5 分科員の選任
- 6 分科会長、分科副会長の選任
- 7 閉 会